

(参考)

農協改革ボックスの設置について

農家や農協関係者はもとより、消費者、経済界など国民各層の声を農協改革に反映させるため、農林水産省では、「農協のあり方についての研究会」を、平成14年9月27日に開催しました。今後、平成15年3月までに改革の方向をとりまとめる予定です。これに伴い、農協改革への幅広い国民の意見や提言を聴くため、「農協改革ボックス」を、農林水産省ホームページ内に設置しました。

プレスリリース

「農協改革ボックス」の設置について

平成14年10月4日
農林水産省経営局

農協改革の促進については、9月27日に「農協のあり方についての研究会」を設置し、検討を開始したところですが、更に広く国民各層の声を農協改革に反映させるため、別紙のとおり、農林水産省のホームページ上に「農協改革ボックス」を設置いたしました。

消費者、生産者、農協関係者等、国民各層の皆様方から農協改革に資する積極的な提言をお待ちしております。

連絡・問い合わせ先

経営局協同組織課

TEL : (代表) 3502-8111

(直通) 3501-3728

(内線) 4343

FAX : 03-3502-8082

担当 : 波積

日向、塚野、原口



農林水産省

The Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

[ENGLISH] [サイトマップ]

●総合ガイド

●キーワード検索

検索

より詳細な検索

大臣・副大臣・政務官

記者会見・報道発表

資料・統計

お知らせ・案内

パブリック・コメント

情報公開

電子政府の総合窓口

リンク

ご意見・お問い合わせ

施策案内



牛海綿状脳症(BSE)関係情報

食品の表示について

「食」と「農」の再生プラン関係情報

諫早湾干拓事業について

農協改革への提言を募集します

食と農のものしり百科

食と農のQ&A

農業を始めたい人を応援します

地方からの提案

消費者の部屋

子どものためのページ

農林水産省メールマガジン

新着情報

平成14年9月27日

- 平成11～14年度魚介類中のダイオキシン類の実態調査(中間報告)について(平成11年度～平成13年度)
- 牛海綿状脳症(BSE)サーベイランスの結果について(第47報)

平成14年9月25日

- 第4回BSE対策検討会の開催及び傍聴について

平成14年9月24日

- 第12回牛海綿状脳症(BSE)に関する技術検討会の概要について

平成14年9月20日

- 食肉流通問題調査検討委員会の開催及び傍聴について
- 食料・農業・農村政策審議会農村振興分科会農業農村整備部会平成14年度第4回企画小委員会の開催について
- 牛海綿状脳症(BSE)サーベイランスの結果について(第46報) [PDF]

トピックス

- 国際関係情報(WTO, FTA, セーフガード他)
- 「食」と「農」を語り合う会(農林水産省版タウンミーティング)
- テーマ別政策提案会
- 情報戦略タスクフォースについて [PDF]
- 政策評価
- 構造改革特区に係る地方提案への対応について
- 平成14年度農林水産予算の概要/概要(冊子)
- 平成15年度農林水産予算概算要求の概要
- 平成15年度組織・定員要求の概要について
- 次期臨時国会及び次期通常国会に提出を検討している法律案
- 無登録農薬(ダイホルタン、プリクラン等)関係情報
- 食料自給率と食料安全保障
- 食品中のカドミウムに関する情報
- 入省案内
- ハールレマミア国際園芸博覧会(フロリアード2002)
- バイオマス・ニッポン
- トレーサビリティ地域セミナー開催のお知らせ

ここをクリックして下さい

当ホームページのご利用に当たって

著作権、免責事項、リンク等については、こちらをご覧ください。

あなたは 人目の訪問者です (10月18日PM5:00現在)

農協改革への提言を募集しています
～「農協改革ボックス」の設置～

これまで農協改革については、平成13年の農協改革2法をはじめとする諸施策を推進してきたところです。

しかし、営農・経済事業（営農指導、販売、購買、利用等といった組合員の営農を支援する事業）については改革が遅れており、各地の担い手農家をはじめ、消費者、経済界など各方面の方々から、様々な意見や注文が出ています。

農協改革は、農協系統が自ら取り組む課題であることは言うまでもありませんが、国を含む行政庁は、法令に基づき農協の健全性を確保する行政責任を有しており、国としても改革を促していくことが必要と考えております。

このようなことから、農林水産省では、消費者、経済界など国民各層の声を農協改革に反映させるため、9月27日に「農協のあり方についての研究会」を開催したところであり、今後月1回程度開催して平成15年3月までに改革の方向を取りまとめることとしております。

今回の農協改革は、農協の営農・経済事業のあり方のみならず、農協と行政のあり方などの幅広い観点から見直しが必要と考えています。

このため、消費者、生産者、農協役職員、農協と取引のある方など、農協改革に関心をお持ちの方は、どなたでも農協改革について意見や提言ができるよう、「農協改革ボックス」を設けましたので、積極的な意見や提言を出していただきますようお願いいたします。

[「農協改革ボックス」へ](#)

[農協改革に関する今までの議論等についての資料はこちらにあります](#)

[農林水産省トップページへ](#)

農協改革ボックス

- ・農林水産省では、国民の皆様から、農協改革に関する幅広いご意見、ご提言等をうけたまわっています。
- ・下記事項にご記入の上、「送信」ボタンをクリックして下さい。
- ・文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないで下さい。

ご意見及びご提言内容

氏名 <全角文字> (匿名を希望する方はその旨お書き下さい)

住所 (都道府県名からお書き下さい)

電子メールアドレス <英数字>

よろしければ、次にも記入して下さい

年 齢

性 別 男 女

職 業

送信ボタン

リセット

なお、送信ボタンを選択して電子メールソフトのみが起動する場合は、この内容に準じて入力後 jakaikaku_kyosoka@nm.maff.go.jp宛に送信して下さい。

送信された内容については、今後の農林水産施策の参考とさせていただきますが、必ずしも全てについて回答するものではありませんので、ご了承ください。

[BACK](#)

[農林水産省トップページへ](#)

農 林 水 産 省 メ ー ル マ ガ ジ ン (抄)

2 . 施策紹介 (抄)

(3) 農協改革ボックスの設置 (経営局)

これまで農協改革については、平成13年の農協改革2法をはじめとする諸施策を推進してきたところですが、営農・経済事業については改革が遅れており、担い手農家をはじめ、各方面の方々から、様々な意見や注文が出ています。

このようなことから、農林水産省では、「農協のあり方についての研究会」を設置し、改革の方向について検討しているところですが、このたび、農協改革に関心をお持ちの方は、どなたでも農協改革について意見や提言ができるよう、「農協改革ボックス」を設けました。

詳細については、以下のアドレスに掲載しておりますので、多くの皆様方の御意見、御提言をお待ちしております。

<http://www.maff.go.jp/soshiki/keiei/box/teigen.htm>